

環境化学物質の生体応答の解明に立ち向かう

Attempt to Elucidate the Biological Response to Environmental Chemicals

徳本 真紀¹, 栗田 尚佳²

¹岐阜薬大, ²東大院医

我々を取り巻く環境には様々な化学物質が存在し、ヒトは日々これらに曝されながら生活することを余儀なくされている。化学物質が生体に及ぼす影響は多様であり、そのメカニズムも不明な物が多い。カドミウムおよびメチル水銀はそれぞれイタイイタイ病並びに水俣病の原因物質であるが、公害発生から半世紀が経過したにも関わらず、その毒性発現機構および毒性軽減の手立てが未だに解明されていないのが現状である。また、世界有数の長寿国となった我が国において、避けることの出来ない化学物質曝露による発がんのリスクや、胎児期の栄養環境に依存した化学物質に対する応答性の変化は検討を深めるべき問題である。本シンポジウムでは将来の衛生薬学研究を担い、意欲を持って日夜研究に取り組む博士後期課程に在学中の女性大学院生を中心としたシンポジストの方々に、環境化学物質による毒性発現やその防御作用などの生体応答の解明に向けた最新の研究成果を発表していただく。